

セフイリアア墮





初刷 2004年4月22日 発行

「クリムゾン」PRESENTS

セフィリア墮

発行者／カーマイン

<http://www.alles.or.jp/~uir>

印刷 大陽出版株式会社さま



禁 無断転載

度重なる陵辱

さまさまな方法で
プライドを崩されながらも
ギリギリのところまで
理性を保っていた
セフィリアだったが



ついに火照る体を
鎮めるために
自慰行為をしてしまう


それをクリートに
見られ…

セフィリアハード

最終話


「真実」

作 / カーマイン



セフィリア
今日からもう
格闘大会にでなくても
いいよ

夜も客の相手を
しなくてもいい



今日からずっと
その部屋にいて
もらおうか

くつろいでもらって
かまわないよ

それじゃあ
また後で…

フフフ…

クリード…
今度はいったい何を…

まあいいわ…

この間に
脱出の策でも練らせて
もらいましょ…

この服…
とくに体にたいして
何かの刺激を与える
ものでもなさそうだし…

しかし
セフィリアの考えは
あまかった

1日100回以上
イカない日はなかった
セフィリアにとって

突然の静寂は
想像以上に過酷だった

二時間後…

ぶる
ぶる

ほあ

ほあ

ぶる
ぶる

…ッ！

…

キエッ

ほあ

ほあ



ナノマシンによって
性の虜にされてしまった体は

セフィリアの心とは裏腹に
快楽を求めて
もたえ苦しんでいた

びる
びる

びる
びる

びる
びる

ぶる
ぶる

ここでまた
自慰をってしまったのは
クリードの思いつぼ...

.....
!!

ぶる
ぶる

絶対に耐えないと.....!!

キ
エ

絶対.....!!

.....
!!

ぶるぶる
ぶるぶる

ぶこれ以上
あの男の思い通りになるわけには……

乳首をしゃべらなCoo

この乳房をしゃべらなCoo

ビクッ
ビクッ

ぶるぶる
ぶるぶる

ダメだ……!!

……フッ!!

ズッ



アッ……!

か…感じない…
何も…！

ぶっぶっぶっ…

…
なるほど…

そういうことか…

このスーツは
外からの刺激を
遮断する特殊なもの…

私が自らの手で絶頂を
むかえられないように…

気づいたようだね
セフィリア

もしそのスーツを
脱がせて
欲しかったら

いつでも
お願いしたまえ

……!

ムキッ

まあ
クロノスのNo.1の
セフィリアともあるうものが

敵地でオナーを
したくなるなんてことは
ないかな？
ククク…

それから
セフィリアにとって
今までは違う
拷問がはじまった

くっ……





どんなに
イキたくなくても
決してイクことが
できないという



淫乱なメスに
したてあげられた
セフィリアの体にとって
もつとも過酷な拷問…

自分の意思に反して
無理矢理イカされていた
今までとは違い

自らの意思で
イキたくなっていると
いうことが
セフィリアのプライドを
より責め立てていた



絶対に…
絶対に耐えてみせる……!

絶対に…
自ら敗北を認める
わけには…

イキたい……

イキたい……

日をますことに
イクことへの欲求は
高まり……

意思と反して
指を動かすが……

びるびる

イキたい……

イキたい……



決してイクことは
出来ず…

びる
びる

四六時中
悶えるのみだった…

ほあ

ほあ

ほあ

セフィリアハード

第10話

「一週間」

作 / カーマイン



やあせフィリア

久しぶりだね



ククク...



ぶるぶる

ぶるぶる

あ

あ

あ



…次はどんな

卑猥なことを
するつもりですか…？



しつかり
休めたかな？

どうだった
この一週間



クリード……



おや？


なんだか
いやらしいことを
されるのを
望んでいるように
聞こえるけど？






ムリしなくても
いいよ






キミの剣を
用意してある


ナノマシンの
解除剤もあるし
外部への通信機器も
ある




そろそろまた
ゲームを
しようじゃないか



ただし
この二人の攻撃を
かいくぐることだけが
条件だ



これらは
自由に使ってもらって
かまわない



ナノマシンで
体を操ったりも
しないよ

今回は何も
卑怯なことはいししない



.....







まずクライストを……!



ダメか……!



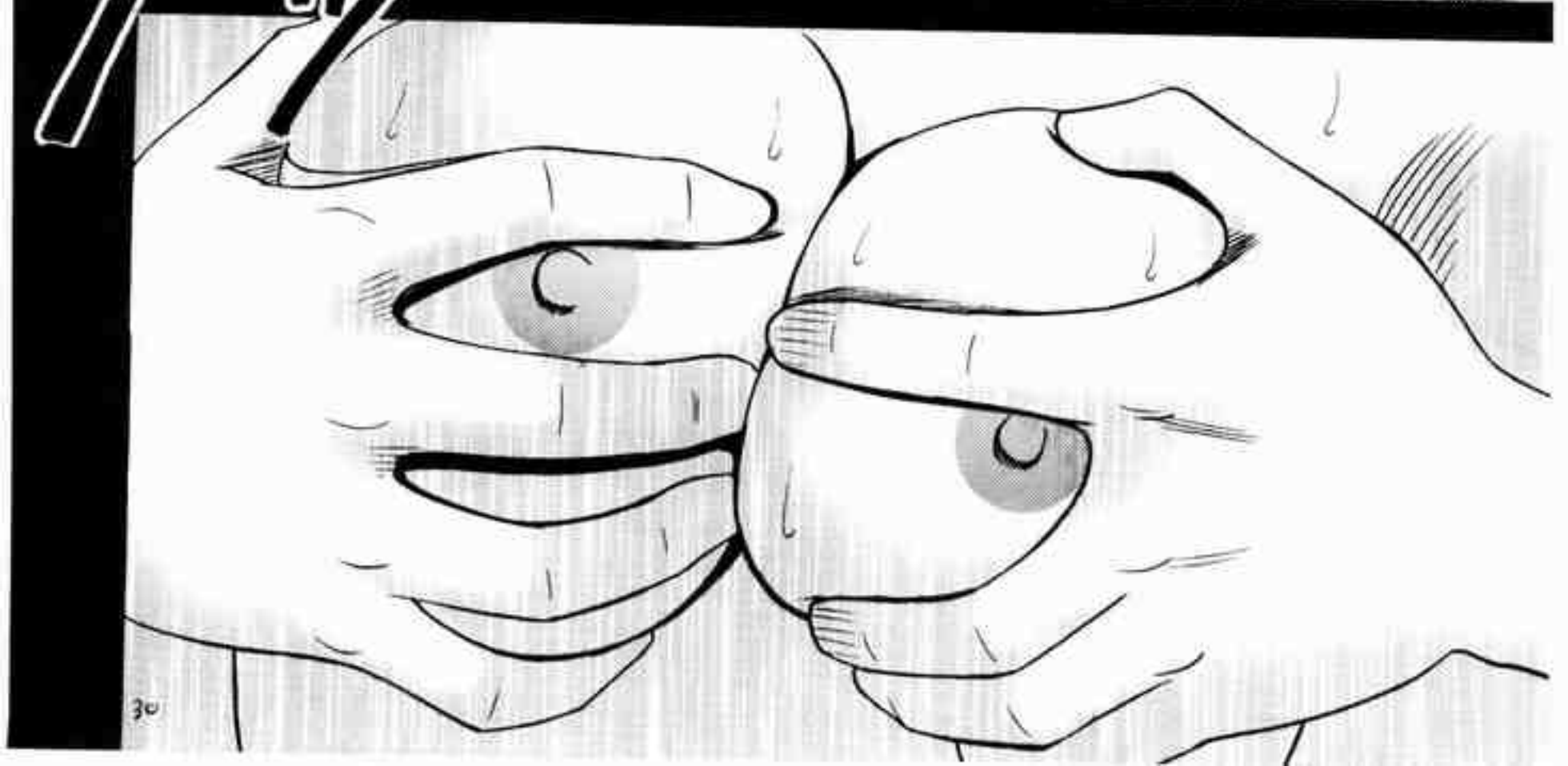
ムニ



くっ……!

おっと……!

グ
ッ





乳房への愛撫が
くすぶっていたセフィリアの
官能の炎を激しく
燃え上がらせてしまった

一週間
おさえられ続けた絶頂感が
一気に押し寄せてくる

すいすい
すいすい

さっきは
惜しかったなあ

びるびる

もうちよつとで
剣に手が
届きそうだった
のになあ

……っ!!

毛汁

毛汁

毛汁

さーんねん

あ!!

胸もんでるだけで
感じまくってるのが
伝わってくるぜ

……っ!!

ビクッ

ん!!

ビクッ



へへ…
二つの乳首を同時に
吸ってやろうか？

…じゅじゅ…や…や…

ジュン
ジュン

ギョ

ギョ

ギョ



ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

…っ!!



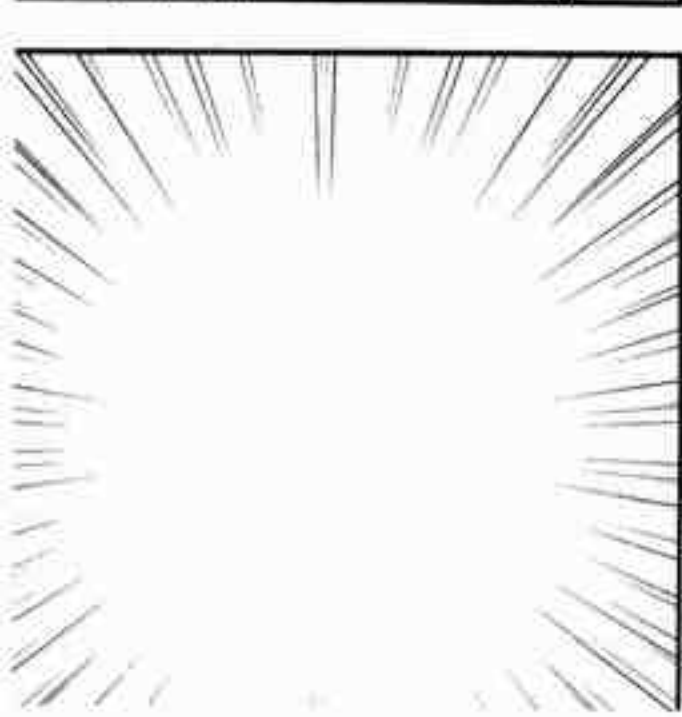
ちゅっ
ちゅっ

む…胸だけで
イッてしまっ…!!

むっ
むっ
むっ



あああ
ああつ!





このままクライストを
手にすることができれば…

脱出できる…!!

このまま・・・

カッ!







あっ……



あああっ！

おいお前
剣を取る前に
一度止まらなかつたか？

あのまま行つてれば
剣を取れたんじや
ねえのか？





ずっとこの奥に
刺激を与えて
欲しかったんだろ？



くっくっ！

ぶるぶる

むん

むん



グチュ

ホラホラ



ち...離る...ズン...

か...ん...ズン...

ズン



おっと
続きはベッドの
上でな

あつ…

くっ！

44

やっ！

きん
きん

ギ
ギ

ダメだ……！
剣まであと少しのところで
行ってたのに……！

グ
グ
グ
グ
グ
グ

この人たちを振り払って
もう一度……!!

ふるふる

……!!

イキた……!!

おん……!!

戦わないと……!!

クロノスのために……!!



「J……J」の感触は……!

ドキッ



あっ……!

フル

ほらほら
さきつちよが
入っちゃまったぜ

脱出してみろよ

くうっ……

ほあ

ほあ

ほあ

びる
びる

せつかく
がんばったのに

もっと
誇り高いところ
見せてくれよ

ほあ

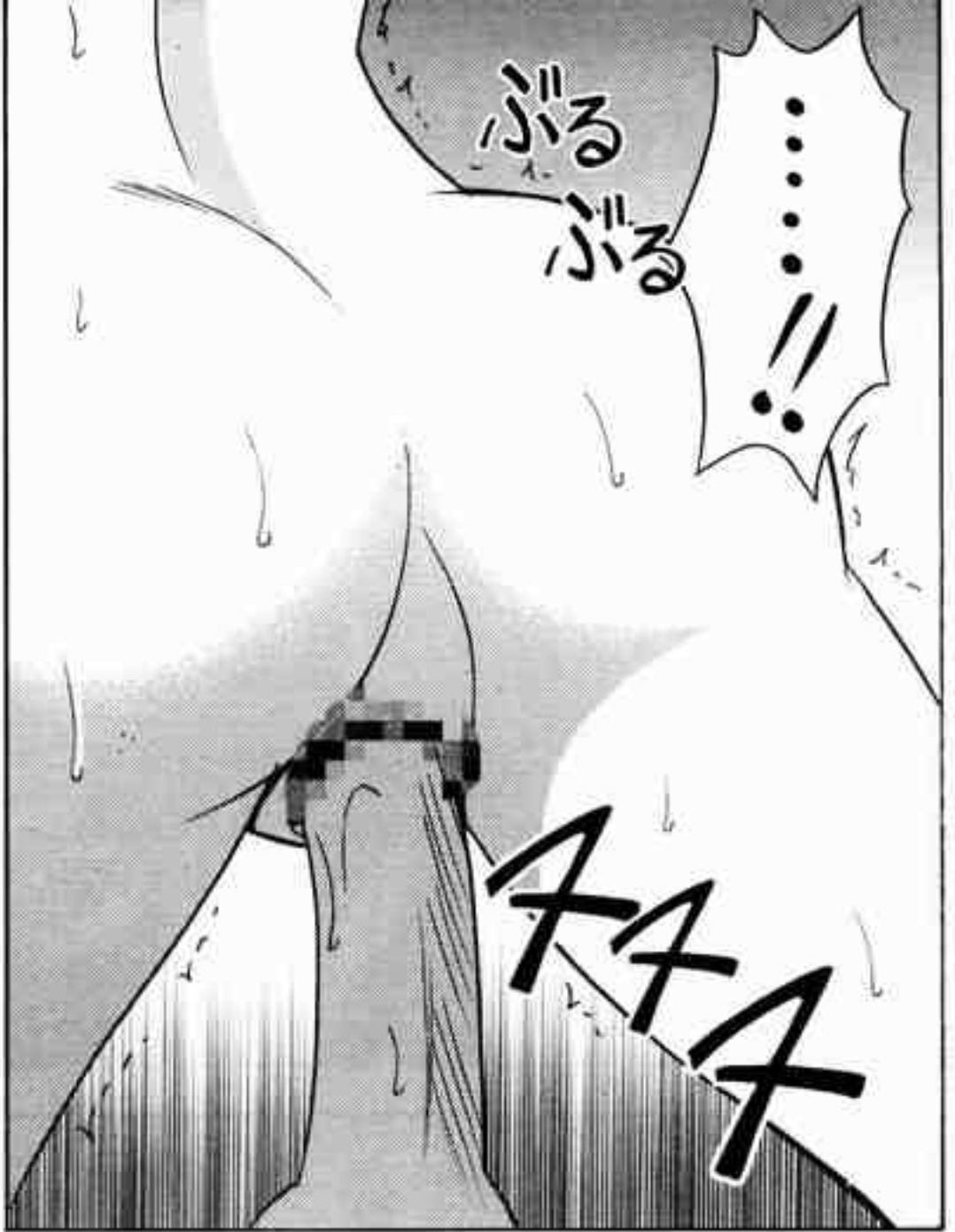
ほあ

ほあ

びる
びる

結局はまたそうやって
犯されるのかい？

キミはその程度
だったのかい？

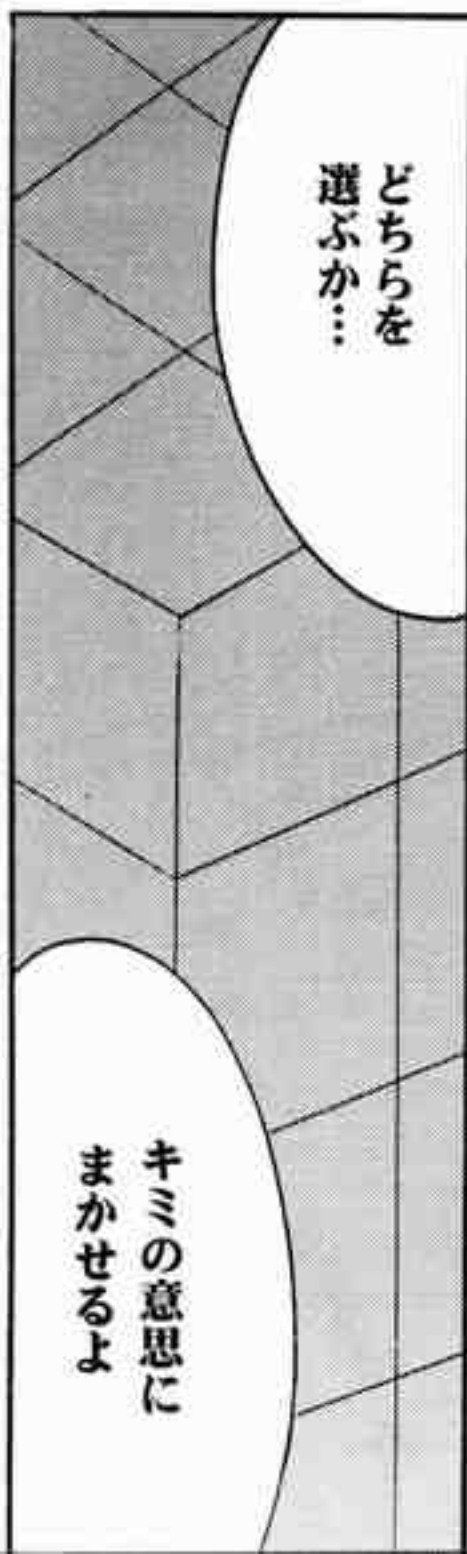




ほらセフィリア

剣をここまで
持ってきてやったぞ

ぶる
ぶる



どちらを
選ぶか…

キミの意思に
まかせるよ



ぶる
ぶる

最高の快感を
得たいのなら
そのまま腰を
沈めればいい



まだ
戦い続けたかったら
手をのぼすとい

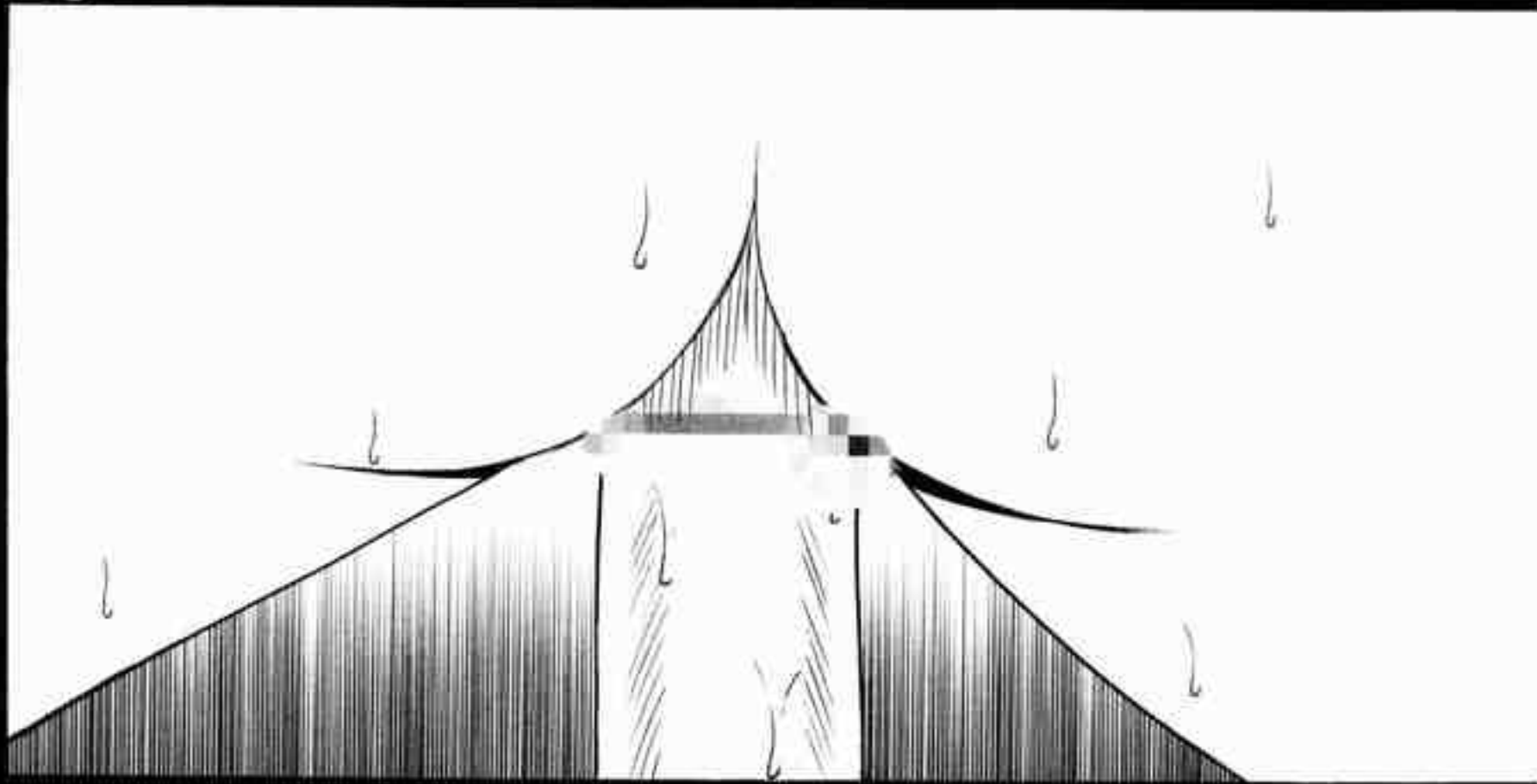
あのとき
手を伸ばせば
すでに剣を手にすることは
できていた…

でもしなかった…

本当はもう
ずっと前から
答えは出てた…

私は戦って
いなかった

私は戦っている
フリをしていたただけだったの
かもしれない…





私の意志…

イキたい…



私の意志は…

クロノスのために
戦うこと…

イキたい…もうガマンできない…



もう…
答えは出ている…

私はもう……

快感の虜になっていった……



来た……!

カチュ

「この……感じ……!」

うああ!!

一週間
待ち焦がれた……

カチ

カチ





ふる
ふる

ククク…
自分で腰を動かして
イキまくってやがる



ふる
ふる



もっと良く
してほしいなら
お願いしてみろよ

ふる
ふる

…!!

こうして
ほしいんだろ？

ズッ

クキョ

...

ほらほら
ちやんと
言ってみろよ

フル

フル

う...め...

ニニニニニニニニ

.....



「あなたのペニスで
もっと奥まで
かきまわしてくださーい」

ほあ

ほあ



分かってんじや
ねーか
奴隷としての
振る舞いが

グキョ

あぁあッ!

グキョ

お前 まるで
何十年も前から
チ●ポ奴隷だった
みたいだぞ

びる
びる

あああ……もっ……

グチュ
グチュ

!!

!!

グ
グ

グ
グ



もっど…もっど
奥まで…!

突いてください!

きもちいいい…

淫乱なメスのような
言葉を口走ることが
ものすごく
気持ちいい…!

オイ
ケツにも入れて
もらいたいかな?

ぶる
ぶる

は…は…

へへ…
素直だなあ









んっ！







いゝる
いゝる

■■■■■■■■■■あとがき■■■■■■■■■■

もともとはセフィリア極にのせるつもりだったんですが、セフィリア極のページ数が多くなりすぎたので分けました。

もともとセフィリアが完全に堕ちる内容のストーリーとして考えていました。ここまで完全に堕ちるのはクリムゾンコミックス史上初ではないかと…。烈火の傷跡のリンよりも堕ちていると思います。

しかし全体的に見るとなんだかムダに長いみたいな 薄い内容になってしまいました。

やはり強引にでもセフィリア極の最後に付け加えたほうが 話としては良かったのでは…と思います。クリードもなんているのか意味がない感じだったし…。

まあしかしセフィリアハードシリーズは5作も続きました。いろいろと好きなことができたので良かったと思います。

表紙は光の加減が難しかったですね。あんまり思い通りにはできませんでした。表紙としてはやはりセフィリア極が良かったですね。

体調が悪いときに描いたページがイマイチです。淡白な感じですね。やはりエロスは健康をベースに存在するものですね。

最後に出てくるセックス人造人間二人組はイマイチ弱かったかな～。と思います。獣人にしようかとも思いましたが、言葉攻めもしたかったのでやめました。

ともかくこれでシリーズは完結です。もし今後セフィリアを描くとしたらまったく別のシリーズになると思います。





意思と反して
指を動かすが...

目を閉すことに
いくことへの要求は
高まり.....



へへ...
二つの乳首を同時に
吸ってやろうか？



お前 まるで
何十年も前から
チ●ポ奴隷だった
みたいだぞ

あああ...もっとな...

陵辱の連続だった日々から一変、まったく快感を得ることの出来ない状態での監禁生活。淫乱なメスの体が変わってしまったセフィリアにとってそれは何より過酷な拷問だった。一週間後、耐え続けて限界まで来ていたセフィリアの体に最後の陵辱が待っていた。